

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和5年11月28日（火）13時35分～15時05分
3. 場所：原子力規制庁16階会議室E
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

安井企画調査官、佐藤上席特殊施設分析官、安部室長補佐、岩野調整係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

福島研究開発部門 廃炉環境国際共同センター

燃料デブリ研究ディビジョン 担当者2名

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 燃料デブリ取り出しプログラム部 担当者3名

プロジェクトマネジメント室 担当者1名

5. 要旨

- 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構福島研究開発部門廃炉環境国際共同センター（以下「JAEA廃炉環境国際共同センター」という。）及び東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、2020年10月に行った福島第一原子力発電所2号機X-6ペネ堆積物接触調査に用いた装置の表面に付着した放射性物質をふき取った試料（スミアろ紙）の分析結果について資料に基づき説明があった。
- これに対して、原子力規制庁から、JAEA廃炉環境国際共同センター及び東京電力に当該調査及び当該分析結果について事実関係の確認を行うとともに、当該分析結果について今後の東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会にて説明するよう求めた。
- これに対して、JAEA廃炉環境国際共同センター及び東京電力から了解した旨の返答があった。

6. 資料

- X-6ペネ調査装置付着物サンプルの分析結果（2021年度）

以上